

# 単元指導計画

## 単元の名前「世界の農林水産業」

### □単元の目標

世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連付けて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界の中での日本の農林水産業の課題を考察する。

### □単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の農林水産業に関する諸事象の分布や動向などに関する考察をもとに、世界の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や日本の農林水産業の現状や課題について、系統地理的にとらえる視点や考察方法をもとに、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や日本の農林水産業に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択し、状況変化の推移や地域差などを読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>

### □指導と評価の計画

次程	学習活動	評価の観点				評価基準等
		関	思	技	知	
第一次 (1時間扱い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業の発達と分布</li> <li>・農業生産活動と自然との関わりについて、主要作物の分布をもとに考察する。</li> <li>・農業の発達を理解し、土地生産性と労働生産性の違いを説明する。</li> </ul>		○		○	<p>【思】農牧業は自然条件に大きな影響を受けるが、どのように自然を克服し生産地域を広げてきたかを考察できる。</p> <p>【知】土地生産性と労働生産性の違いについて、説明することができる。</p>
第二次 (1時間扱い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業の地域区分①</li> <li>・世界各地の自給的農業が立地・発展した背景について、自然環境や社会環境、歴史的経緯などを踏まえて考察する。</li> </ul>	○			○	<p>【関】伝統的な焼畑農業と近年の焼畑農業の違いが、自然環境にどのような影響を与えているか資料から考える。</p> <p>【知】各地にみられる自給的農業の種類と特色について説明することができる。</p>
第三次 (1時間扱い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業の地域区分②</li> <li>・世界各地の商業的農業が立地・発展した背景について、自然環境や社会環境、歴史的経緯などを踏まえて考察する。</li> </ul>	○			○	<p>【関】我々の食生活の大半が商業的農業の恩恵を受けていることに気づく。</p> <p>【知】混合農業、酪農、園芸農業、地中海式農業について、それぞれの分布や生産される農産物を説明することができる。</p>
第四次 (1時間扱い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業の地域区分③</li> <li>・世界各地の企業的農業が立地・発展した背景について、自然環境や社会環境、歴史的経緯などを踏まえて考察する。</li> </ul>		○		○	<p>【思】企業的農牧業の分布が、どのような歴史的背景と関連しているか考察することができる。</p> <p>【知】企業的穀物・畑作農業、企業的牧畜、プランテーション農業が発達した理由を説明することができる。</p>

<p>第五次 (3時間扱い) 本時1/3</p>	<p>○現代世界の農業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要穀物である米と小麦について、生産地域や輸出入の様子を理解する。</li> <li>・大豆やとうもろこしの生産拡大の背景やそれに伴う課題について理解する。</li> <li>・穀物メジャーが国際化する農産物の流通において果たす役割について理解する。</li> <li>・農業の国際化がそれぞれの国の農業や人々の生活にどのような影響を与えるか考察する。</li> </ul>	○	○	<p><b>【思】</b>緑の革命が発展途上国にもたらす影響や、アグリビジネス企業による農業のグローバル化がもたらす影響について生産者、消費者の視点から考察することができる。</p> <p><b>【技】</b>複数の資料を活用し、米や小麦の生産地や流通に関して、多角的・多面的に考察を深めることができる。</p>
<p>第六次 (1時間扱い)</p>	<p>○世界の林業・水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地域の森林の特色について学び、持続可能な森林開発をどのように進めていくか考えることができる。</li> <li>・世界の水産業の現状について理解し、今後どのような課題が想定されるか、またその解決に向けてどのような取り組みがなされているかを説明できる。</li> </ul>	○	○	<p><b>【思】</b>森林の分布と気候との関連について考察することができる。</p> <p><b>【知】</b>林業と水産業に共通する課題を「資源」の語句を用いて説明できる。</p>
<p>第七次 (2時間扱い)</p>	<p>○日本の農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の農業、林業、水産業の特色を理解する。</li> <li>・貿易の自由化が進むなかで、日本の農業が抱える問題について、新聞記事からまとめ、発表する。</li> </ul>	○	○	<p><b>【関】</b>日本の農林水産業が抱える課題について、新聞記事から読み取る。</p> <p><b>【思】</b>日本の農林水産業が抱える課題について、考察することができる。</p>

# 学 習 指 導 案

日時	令和元年10月23日(水) 第5限	指導クラス	2年5組(男子21名、女子16名)	指導者	
教科(科目)	地理B	単元名	世界の農林水産業		
教科書	新詳地理B、新詳高等地図		副教材	新詳地理資料 COMPLETE、地理統計2019年度版	
本時の主題	現代世界の農業の現状と課題			本時(1時間目/3時間)	
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>米と小麦の生産地と流通について違いを読み取り、複数の資料をもとにその理由について考察する。</li> <li>資料を適切に選択し、学習課題の追究に用いることができる。</li> </ul>				
評価規準	思考・判断・表現		資料活用の技能		
	※本時は4観点のうち右の2観点で評価する 複数の資料を用いて多角的・多面的に課題を考察することができる。		学習課題の追究に適切な資料を選択し、活用することができる。		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動			指導上の留意点・観点別評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題追究に向けての動機付けを行う。</li> <li>本時のMQ提示。課題追究①</li> <li>課題に対する予想をたてる</li> <li>グループごとに、資料の読み取り作業。</li> <li>根拠資料に基づいてグループの意見を発表する。</li> <li>まとめ</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>Question 1</b>                      次の3つの図(資料①)は、穀物の生産地とその流通を示している。それぞれ何の生産地か？                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○隣のペア交流で意見を確認させる。</li> <li>○意見の根拠についても交流させる。</li> <li>○米と小麦の生産国と輸出国のグラフを提示し、生産や流通に大きな違いがあることに気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>Question 2</b>                      米と小麦の流通量や貿易相手国が異なるのはなぜだろう。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     考えられる理由を予想しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合い、理由を予想する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     資料を用いて、流通量や貿易相手国が異なる理由を考察しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の資料から考察するだけでなく、2つ以上の資料を組み合わせて、貿易相手国や流通について比較しまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     全体で意見発表                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとにプロジェクターで提示した資料を使いながら、理由について発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     まとめ                      他のグループの意見も参考に、流通量や貿易相手国が異なる理由について各自でまとめる。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価</li> <li>○プリント提出</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクターで米、小麦、トウモロコシ(大豆含む)の生産地と流通に関する資料を提示。</li> <li>○資料は全てプリント配布する。 【関・思】</li> <li>○4人グループで活動させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">                     観察机間指導【思・技】                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○流通量の違いについて、複数の資料を活用し多面的に考察させる。 【技】</li> <li>○根拠資料を的確に選び、資料を活用して発表させる。 【思】</li> <li>○根拠資料をプロジェクターで投影させる。</li> <li>○次回に実物投影機を利用して何人かの意見を紹介し、フィードバックする。</li> </ul>	